

- 問1 1840年に始まったアヘン戦争において、近代的な軍事力を持つイギリスに敗北した清が、1842年に結んだ南京条約の内容として正しいものはどれですか。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|------------------------------|--------------------------------|----------------------------|
| 1. 台湾をイギリスに譲り渡し、多額の賠償金を金で支払った | 2. 上海など五つの港を開港し、香港をイギリスに割譲した | 3. 北京に外国軍隊の駐留を認め、キリスト教の布教を公認した | 4. 日本に朝鮮の独立を認めさせ、遼東半島を割譲した |
|-------------------------------|------------------------------|--------------------------------|----------------------------|
- 問2 江戸幕府の滅亡に関連して、徳川慶喜が大政奉還を行った主な意図や背景の説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|-------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 薩摩藩や長州藩らによる武力倒幕の口実をなくすため、先んじて政権を返上した | 2. 全国の藩を廃止して県を置くことで、中央集権国家を建設しようとした | 3. 天皇中心の政治に戻すことを宣言し、摂政や関白などの職を廃止した | 4. 土地と人民を朝廷に返させることで、藩主を知藩事として任命し直した |
|---|-------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
- 問3 不平等条約における「領事裁判権（治外法権）」の内容として、具体的な事例に基づいた説明を選択してください。 (2017年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 日本が特定の国と有利な条件で条約を結んだ場合、他の国に対して自動的に同じ条件を適用しなければならない。 | 2. 日本の裁判所が外国人を裁く際に、必ず外国人の裁判官を同席させなければならない。 | 3. 日本国内に外国人が住むための特別な区域を設け、その区域内では日本の警察権が一切及ばないものとする。 | 4. 日本国内で外国人が罪を犯した場合、日本の法律ではなく、その外国人の出身国の法律に基づいて領事が裁判を行う。 |
|--|--|--|--|
- 問4 1886年に和歌山県沖でイギリスの貨物船が沈没した際、日本人乗客全員が犠牲になった一方で、救命ボートで脱出したイギリス人船長らが軽い刑にしか問われなかった「ノルマントン号事件」が起こりました。このような不当な結果を招く原因となった、外国人が日本で犯した罪をその国の領事が裁判する権利を何といいますか。 (2021年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|----------|----------|----------|
| 1. 領事裁判権（治外法権） | 2. 居住の自由 | 3. 関税自主権 | 4. 最恵国待遇 |
|----------------|----------|----------|----------|
- 問5 日米修好通商条約に代表される不平等条約の内容について、領事裁判権を認めたことで日本が被った実質的な不利益として最も適切な説明はどれですか。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 日本国内で事件を起こした外国人に対し、日本の警察や裁判所が日本の法律を適用して処罰できなかった。 | 2. 特定の国に与えた最も有利な条件を、他の締約国に対しても自動的に適用しなくなりました。 | 3. 外国から輸入される商品に対して日本側が自由に税率を決めることができず、安い外国製品が流入した。 | 4. 外国人が指定された居留地を越えて、日本国内のどこでも自由に旅行したり商売したりすることを認めざるを得なかった。 |
|---|---|--|--|
- 問6 19世紀半ば、ペリー率いるアメリカ艦隊が日本に来航し、開国を要求した主な背景と目的について述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 江戸幕府に対してキリスト教の布教を公認させ、日本を拠点としてアジア全域に宗教的影響力を広めること。 | 2. 太平洋横断航路を実現することで、ヨーロッパ諸国よりも有利にアジア貿易を行い、あわせて蒸気船に必要な石炭の補給地を確保すること。 | 3. 東南アジアの特産品である香料を、中継地点である日本を通じて安く手に入れるための貿易体制を構築すること | 4. 日本で豊富に産出される良質な石炭を、エネルギー不足に悩むアメリカ本国へ輸出するための販路を独占すること。 |
|--|--|---|---|
- 問7 産業革命期に成立した「工場制機械工業」と、それに伴う人口の動きについて正しく述べたものはどれですか。 (2019年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 機械化により労働力が必要なくなったため、人々は仕事を求めて都市から離れ、全国各地の農村へ分散して定住するようになった。 | 2. 蒸気機関などの動力を利用した機械が工場に導入されたことで大量生産が可能になり、多くの労働者が集まった都市へ人口が集中した。 | 3. 手作業を中心とする工場に多くの労働者が集まって分業を行う形態が普及し、農村部での人口増加が顕著になった。 | 4. 工場での生産が衰退した代わりに、自宅で製品を加工する家内工業が中心的な産業となり、都市の人口は減少に転じた。 |
|--|--|---|---|
- 問8 1858年に調印された日米修好通商条約に基づいて貿易が開始された後、日本国内では物価が急激に上昇し、社会が混乱に陥りました。この物価上昇を招いた背景について述べたものとして、最も適切なものはどれか。 (2026年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 幕府が経済を安定させるために、商品の流通を独占していた株仲間を解散させ、自由な取引を禁じたこと | 2. 欧米諸国から安価な農作物が大量に輸入されたことで国内農業が衰退し、食料の自給率が低下したこと | 3. 米の買い占めを発端として、全国の主要都市で民衆が米屋などを襲撃する米騒動が頻発したこと | 4. 幕府が国内からの金流出を防ぐために貨幣の質を大幅に下げたことや、輸出による国内の品不足が生じたこと |
|--|---|--|--|
- 問9 19世紀半ば、イギリスが清との貿易における赤字を解消するためにアヘンを密輸し、これを取り締まろうとした清に対してイギリスが軍事攻撃を仕掛けたことで始まった戦争は何か、選びなさい。 (2021年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|----------|-----------|
| 1. アヘン戦争 | 2. 辛亥革命 | 3. 義和団事件 | 4. 太平天国の乱 |
|----------|---------|----------|-----------|
- 問10 イギリスで始まった産業革命では、新しい動力源の普及によって社会の仕組みが劇的に変化しました。この変革の背景にある動きと、その動力を備えたペリーの黒船が当時の日本に与えた歴史的背景の説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2023年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 石油を燃料とするディーゼルエンジンが開発されたことで、大型の鉄鋼船による世界一周の定期航路が確立され、貿易が自由化された。 | 2. 石炭を燃料とする蒸気機関が実用化されたことで、天候や自然環境に左右されない大規模な工業生産や交通機関の発達が可能になった。 | 3. 風力を利用する高度な帆走技術が確立されたことで、イギリスは世界中の海を制し、日本に対しても開国を迫る軍事力を保持した。 | 4. 電気を動力源とするモーターが発明されたことで、工場に電力が供給され、従来の石炭利用による大気汚染問題が完全に解決された。 |
|--|--|--|---|
- 問11 1853年にアメリカの使節が浦賀に来航した際の状況や背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. イギリスの軍艦で長崎に侵入し、オランダ人を人質に取って食料などを要求した。 | 2. 軍事力を背景に、大統領の国書を提出して薪水や食料の補給、開国などを求めた。 | 3. ロシアの使節として根室に来航し、漂流民の送還とともに通商を求めた。 | 4. 下田に着任した総領事として、江戸幕府と日米修好通商条約を締結した。 |
|--|--|--------------------------------------|--------------------------------------|
- 問12 1862年、神奈川宿近くの生麦において、薩摩藩主の父である島津久光の行列を横切ったイギリス人を藩士が殺傷する「生麦事件」が発生しました。この事件の賠償を求めて翌年に鹿児島湾へ現れたイギリス艦隊と薩摩藩との間で起きた戦いと、その後の薩摩藩の動向について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 生麦事件の解決のために下関条約が結ばれ、薩摩藩は多額の賠償金を支払う代わりに、イギリスから最新式の蒸気船を譲り受けた。 | 2. 薩英戦争が発生したが、この戦いを通じて薩摩藩は武力による攘夷の困難さを痛感し、イギリスへの接近や軍制の近代化へと方針を転換した。 | 3. 薩英戦争に勝利した薩摩藩は、イギリスとの間に日英通商航海条約を独自に締結し、領事裁判権の撤廃を認めさせた。 | 4. 下関戦争が発生したが、イギリス軍を退けた薩摩藩は自信を深め、江戸幕府に対して異国船打払令を徹底するよう強く要求した。 |
|--|---|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 上海など五つの港を開港し、香港をイギリスに割譲した	南京条約により、清は上海、広東、寧波、福州、厦門（アモイ）の5港を開港させられたほか、イギリスに香港を割譲（領土を譲り渡すこと）しました。また、多額の賠償金を銀で支払うことも義務付けられました。台湾の割譲や朝鮮の独立は、のちの1895年に日本と結んだ下関条約の内容であるため、混同しないよう注意が必要です。
問2	答え 1 薩摩藩や長州藩らによる武力倒幕の口実をなくすため、先んじて政権を返上した	薩摩藩や長州藩が武力による倒幕の準備を進める中、徳川慶喜は政権を朝廷に返上することで、倒幕の名目を失わせようとしてしました。その後も徳川家が主導権を握る新政権構想を持っていましたが、王政復古の大号令によりその道は閉ざされました。他の選択肢はそれぞれ、廃藩置県、王政復古の大号令、版籍奉還の説明です。
問3	答え 4 日本国内で外国人が罪を犯した場合、日本の法律ではなく、その外国人の出身国の法律に基づいて領事が裁判を行う。	領事裁判権は、本来その国の主権に属するはずの「裁判権」を他国に譲り渡すものです。これにより、日本人が被害者となる事件が起きても、加害者の外国人が軽い刑罰で済まされるといった不公平な事態が発生しました。この制度の撤廃は、1894年に陸奥宗光がイギリスとの交渉で成功させるまで続けました。
問4	答え 1 領事裁判権（治外法権）	幕末に結ばれた日米修好通商条約などの不平等条約には、日本に滞在する外国人が犯罪を犯しても日本の法律で裁くことができない領事裁判権が認められていました。ノルマントン号事件において、この権利によってイギリス人船長が不当に軽い処罰で済んだことが当時の日本社会に大きな衝撃を与え、条約改正を求める国民の声が急速に高まる背景となりました。
問5	答え 1 日本国内で事件を起こした外国人に対し、日本の警察や裁判所が日本の法律を適用して処罰できなかった。	領事裁判権が認められたことにより、外国人が日本人に対して暴行などの罪を犯しても、その国の領事によって裁判が行われ、軽い刑罰で済まされるといった不公平な事例が多発しました。このように自国の司法権が及ばないことは、主権国家として対等ではない不平等な状態を意味します。なお、輸入関税を決められない不利益は「関税自主権の欠如」にあたります。
問6	答え 2 太平洋横断航路を実現することで、ヨーロッパ諸国よりも有利にアジア貿易を行い、あわせて蒸気船に必要な石炭の補給地を確保すること。	当時のアメリカは、大西洋を回る従来の航路に代わり、より短期間でアジアに到達できる太平洋横断航路の確立を目指していました。この新航路において、日本は地理的に重要な位置にあり、当時の蒸気船の動力源として不可欠だった燃料用石炭の補給地を確保することが、開国を求めた大きな目的の一つでした。
問7	答え 2 蒸気機関などの動力を利用した機械が工場に導入されたことで大量生産が可能になり、多くの労働者が集まった都市へ人口が集中した。	工場制機械工業は、自然の力（水車など）や人力ではなく、蒸気機関などの強力な動力を活用して機械を動かし、一箇所に集まった労働者が製品を大量に生産する仕組みです。この生産体制の確立は、職を求める人々を都市へ引き寄せ、社会の仕組みを農村中心から都市中心へと大きく変容させました。
問8	答え 4 幕府が国内からの金流出を防ぐために貨幣の質を大幅に下げたことや、輸出による国内の品不足が生じたこと	開国当時の日本では金と銀の交換比率が諸外国と異なっていたため、大量の金が国外へ流出しました。幕府はこれを食い止めるために、金貨の質を落とした貨幣を発行しましたが、その結果として貨幣の価値が下がりが物価が上昇しました。また、生糸や茶といった国内の重要産品が大量に輸出されたことで、国内市場が品不足に陥り、さらに物価高騰に拍車がかかりました。
問9	答え 1 アヘン戦争	イギリスは清から茶を輸入し、銀が大量に流出する貿易赤字に苦しんでいました。これを打開するために植民地のインドから清へアヘンを送り込む「三角貿易」を行いましたが、清がアヘンを没収・廃棄したことで軍事衝突に発展しました。これが東アジアの近代化に大きな影響を与えるきっかけとなりました。
問10	答え 2 石炭を燃料とする蒸気機関が実用化されたことで、天候や自然環境に左右されない大規模な工業生産や交通機関の発達が可能になった。	産業革命の最大の特徴は、人力や水力・風力といった自然の力から、蒸気機関という機械的な力へと動力源が転換した点にあります。これにより、工場での大量生産や蒸気船・蒸気機関車による高速・大量輸送が実現しました。ペリーが来航した際、日本側が作成した記録には「風を待たずに進む巨大な船」への驚きが記されており、この技術的な背景が日本に開国を決断させる一つの要因となりました。
問11	答え 2 軍事力を背景に、大統領の国書を提出して薪水や食料の補給、開国などを求めた。	ペリーはフィルモア大統領の親書を携え、日本の開国を目的として来航しました。この時、幕府は即答を避けて回答を翌年に延期しましたが、強大な軍勢力（黒船）を背景とした圧力により、翌1854年に日米和親条約が締結され、下田と函館の2港が開港されることとなりました。他の選択肢はラクスマン（根室）、フェートン号事件、ハリス（日米修好通商条約）に関する記述です。
問12	答え 2 薩英戦争が発生したが、この戦いを通じて薩摩藩は武力による攘夷の困難さを痛感し、イギリスへの接近や軍制の近代化へと方針を転換した。	1862年の生麦事件をきっかけに、1863年に薩摩藩とイギリスの間で薩英戦争が勃発しました。薩摩藩はこの戦いでイギリスの圧倒的な軍勢力を目の当たりにし、それまでの「攘夷（武力で外国を追い払うこと）」が不可能であることを悟りました。これを機に、薩摩藩は敵対していたイギリスと急接近し、武器の購入や軍制の近代化を進めることで、後の倒幕運動の中心勢力へと成長していきました。選択肢にある下関戦争は長州藩が関わったものであり、下関条約は日清戦争の講和条約です。